

令8 高等学校書道（6枚のうち1）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中国の殷や周時代、王や諸候のもとで、占いや青銅器の製作に従事した人々を中心に使われていた、甲骨文や（①）は、一般の人がほとんど目にする機会のない神聖な文字であったと考えられている。その後、春秋・戦国時代になると文字を使う人や用途が増え、それぞれの国で文字が青銅器に鑄造された。さらに、石や玉、竹や木や絹に筆で書くことが広まると、字形や文字の使い方に混乱が生じるようになった。中国を統一した秦の（②）は、この混乱を正すため、自分の国で使用していた文字を公用の書体に制定し、各地に広めた。

一方で全国に配置した役所との間で大量の文書処理することが必要となった。役人たちには、戦国時代に自分の国で使用していた（③）を速く書くための実用書体の使用も認めた。それらの文書は、細長く切った竹の札や木片の狭い部分に大量に速書きするため、点画は直線的になり、波勢のリズムが備わるようになった。これが隸書である。続く前漢時代になると、（③）の速書きから生まれた隸書は、波勢を強調した筆使いが特徴の（④）という様式に結晶された。そして後漢には、後世に伝えることが目的である碑にも多く用いられるなど、（③）に代わる新たな公用書体として極まった。

問一 文中の（①）（④）に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

問二 ――線部Ⅰについて、次の問いに答えなさい。

- （1）次の図版Aは動物のサイを象った青銅の容器の内面に鑄込まれた銘文である。図版Aの作品名と、その釈文中の（⑤）、（⑥）に入る適切な漢字を、それぞれ楷書で書きなさい。



図版A

【釈文】
惟王（⑤）征人方惟
王十祀又（⑥）彤日

- （2）図版Aや図版Aと同時期に書かれた作品に多く見られる、太く塗りつぶしたような点画を何というか、漢字二字で書きなさい。
- 問三 ――線部Ⅱについて、次の問いに答えなさい。

- （1）次の図版Bは秦時代に書かれた作品の一部分である。作品名を、漢字で書きなさい。
- （2）次の□は、図版Bの文字の特徴を述べた一文である。文中の（⑦）（⑧）（⑨）に入る適切な語句を、それぞれ漢字二字で書きなさい。



図版B

字形はおおむね（⑦）で左右相称、横画は（⑧）、縦画は（⑨）、起筆は（⑩）の用筆が用いられ、送筆は中鋒、線の太さは（⑪）である。

問四 ――線部Ⅲについて、次の問いに答えなさい。

（1）下の図版Cの作品名を、漢字で書きなさい。



図版C

- （2）図版Cの発掘に携わった探検家として適切な人物名を、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア オーレル・スタイン

イ スウェン・ヘディン

ウ ポール・ペリオ

エ 大谷 光瑞

問五 ――線部Ⅳについて、次の問いに答えなさい。

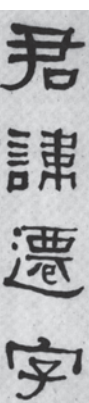
- （1）次の図版D、Eの作品名を、それぞれ漢字で書きなさい。
- （2）次の図版Fは図版Dを臨書した作品である。清時代に顔真卿の書や漢碑を学び、図版Fを制作した人物名を、漢字で書きなさい。



図版D



図版E



図版F

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

四〇六世紀の中国は南北朝時代と呼ばれ、各国が並立する動乱の時期だった。北朝では、仏教の普及にともなって、雲崗・敦煌・龍門の石窟寺院が造営され、南朝の貴族の間では精神の自由さを重んじる文化が好まれ、王羲之らが活躍するなど、双方で様々な文化が発達した。六世紀後半になり、北朝の北周から興った隋の文帝が南朝の陳を倒して、南北に分裂していた中国を再統一すると、文帝の後を継いだ煬帝の時代に完成した大運河によって南北の交流が盛んになり、書も、南朝の流麗な書風と北朝の険しい書風が融合し、碑や古人の業績等を石などに刻した（①）ほか、楷書の名品が数多く誕生した。

隋に代わって中国を統一した唐は、隋の制度を受け継ぎながら、それまでの中国史上最大の領域を統治し、周辺諸国の朝貢を受ける世界帝国になった。唐の二代目皇帝（②）は、官僚制を整備し、儒学や文学を奨励し、安定した時代を築いた名君で王羲之の書の愛好者としても知られている。（②）は学者や官僚であり書の名手でもあった（③）、（④）、（⑤）ら三人を政治と文化を推進するため重用した。楷書の最盛期を築いた彼らは、後に「初唐の三大家」と呼ばれ、日本の書にも大きな影響を与えた。

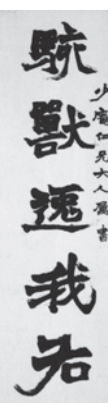
問一 文中の（①）（⑤）に入る適切な語句や人物名を、それぞれ漢字で書きなさい。ただし、同じ記号には同じものが入る。

問二 ――線部Ⅰについて、次の問いに答えなさい。

- （1）下の図版Aの作品名を、漢字で書きなさい。



図版A



図版B

- （2）図版Aの文字に多く見られる点画の角張った字形のことを何というか、漢字二字で書きなさい。また、右の図版Bは、北魏時代の楷書を習い、近代的な書風を打ち立てた人物が書いた作品である。この作品を書いた人物名を、漢字で書きなさい。

令8 高等学校書道（6枚のうち2）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

問三 ――線部Ⅱについて、あとの図版C～図版Hを見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図版Cの作品名を、漢字で書きなさい。また、図版Cは神龍半印本といわれる模本である。この模本を制作したとされる人物名を、漢字で書きなさい。
- (2) 図版Cに押印されている、書画などが鑑賞や収蔵されたことを示すために押す印を何というか、漢字で書きなさい。また図版Dは、図版Cに押印されている、ある皇帝が収蔵したことを示す印である。その皇帝として適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 煬帝 イ 高宗 ウ 康熙帝 エ 乾隆帝

- (3) 印を制作する適切な工程の順番として、次のア～カを並び替え、その符号を順に書きなさい。

ア 運刀 イ 印箋に押す ウ 布字 エ 選文・検字 オ 印稿を作る カ 押印・補刀

- (4) 図版Eは、図版Cに関連するある場面を絵画のテーマとして描いた作品である。この絵画の作者で台東区立書道博物館を開館した人物名を、漢字で書きなさい。

- (5) 図版F、Gは王羲之の作品を臨書した作品である。作品を書いた人物名を、それぞれ漢字で書きなさい。

- (6) 王羲之を典型とし、漢・魏・六朝時代の名家の優劣を説き、書の本質や技法を論じている、唐時代に草書で書かれた作品名とその作品を書いた人物名を、それぞれ漢字で書きなさい。またその人物が述べた文として適切でないものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 隸は、精にして密なるを欲す。 イ 真書は平和を以て上と為す。

ウ 篆は、婉にして通なるを尚ぶ。 エ 意は先んじ筆は後にす。

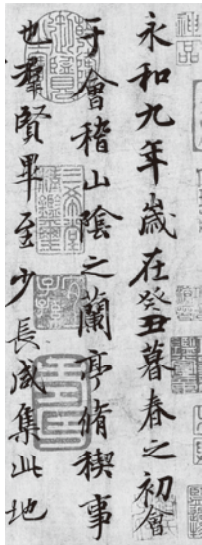
- (7) 図版Hの作品名と図版Gが所蔵されている施設の組合せとして適切なものを、次のア～エから二つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 王羲之書扇図・京都国立博物館

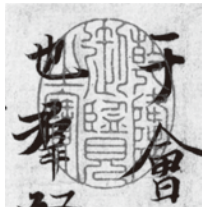
イ 王羲之観鵝図巻・メトロポリタン美術館

ウ 王羲之換鵞図・神戸市立博物館

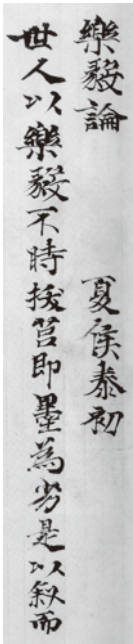
エ 王羲之図・京都国立博物館



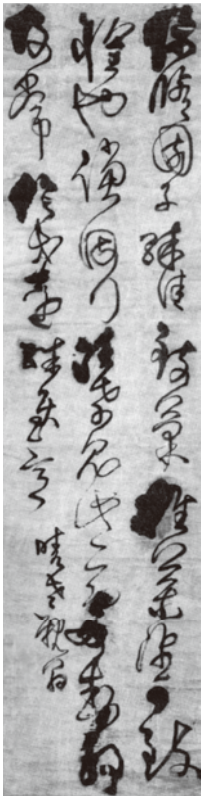
図版C



図版D



図版F



図版G



図版E



図版H

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

漢字の正確な伝来時期は不明であるが、紀元前後の文字を鑄込んだ中国製の貨幣や漢委奴国王印を代表とする（①）がわが国の古墳などから出土している。六世紀半ばでは、中国から仏教が伝来すると經典も伝わり、七世紀には紙に書かれたわが国現存最古の肉筆（②）ほか大量の經典が書写されるようになった。

八九四年に（③）が廃止されると、日本の文化は国風化が進んだ。書においても、長い年月をかけて吸収した中国書法の上に、

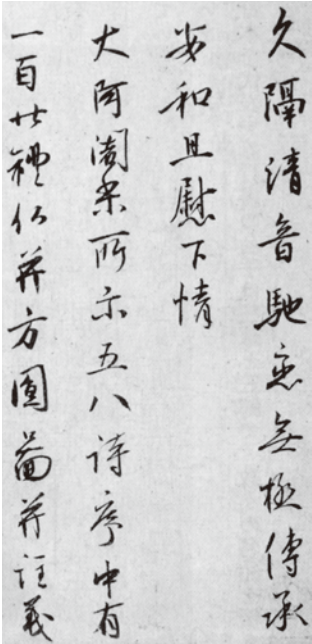
日本の風土や日本人の感性が反映されるようになった。また、三跡が現れ、日本独自の書風が完成した。

問一 文中の（①）（②）（③）に入る適切な語句や作品名を、それぞれ漢字で書きなさい。

問二 ――線部Ⅰ、Ⅱについて、次の問いに答えなさい。

- (1) ――線部Ⅰについて、国風文化の発展は平安時代のいつ頃を指すか、解答欄に合うように漢字一字で書きなさい。
- (2) ――線部Ⅱについて、三跡の登場により、発展・完成した日本的な書風を何というか、漢字二字で書きなさい。

問三 左の図版Aは「久隔帖」である。この作品を書いた人物名と、その釈文中の（④）（⑤）（⑥）（⑦）に入る適切な漢字を、それぞれ楷書で書きなさい。



図版A

【釈文】

久隔清音馳（④）無（⑤）傳承
安和且慰下情
大阿闍所示五八詩序中有
一百廿禮佛并方圓圖并注義

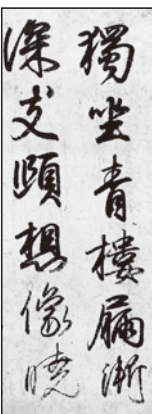
令8 高等学校書道（6枚のうち3）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

問四 次の図版B～Gについて、これらの作品を書いた人物名を、あとのア～カからそれぞれ選んで、その符号を書きなさい。また、作品名をそれぞれ漢字で書きなさい。



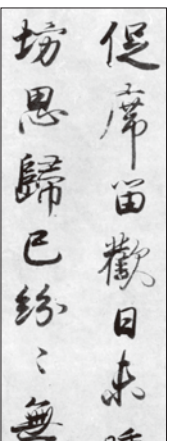
図版 B



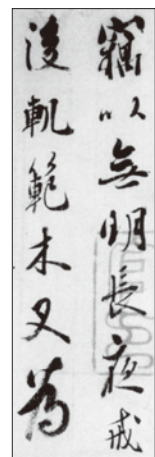
図版 C



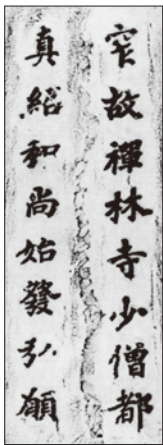
図版 D



図版 E



図版 F



図版 G

ア 嵯峨天皇

イ 小野道風

ウ 藤原佐理

エ 伝橘逸勢

オ 藤原行成

カ 藤原敏行

問五 鎌倉時代中頃に書かれた、宋、元時代の書法の影響を受けながらも個性的な書作を特色とする禅僧が書いた書のことを何というか、漢字二字で書きなさい。

問六 江戸時代、尊円親王が創始した流派で江戸幕府の公用書体として起用されていたものを何というか、漢字三字で書きなさい。

問七 江戸時代後期になると「幕末の三筆」と称される人物らが登場する。そのうち二人の人物名を、それぞれ漢字で書きなさい。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

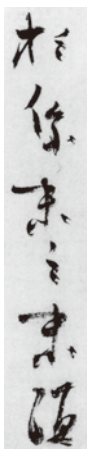
中国から漢字が伝わると、文字を持たなかった私たち日本人の祖先は漢字の音を借りて自分たちの言葉を書き記すことを始めた。これが仮名の起こりである。漢字が（①）と呼ばれたのに対し、仮の字という意味から仮名と呼ばれた。この仮名は後に、意味に係なく表音文字として歌集に使用され、（②）とも呼ばれた。仮名といっても、最初は図版A・Bのように漢字の楷書や行書で書かれており、（③）と呼ばれた。平安時代に入ると次第に図版Cのような草書で書かれるようになり、（④）と呼ばれ簡略化が進んだ。また、（③）に対し、平安時代中期になると字源の姿が分からないほどに略された仮名として、図版Dのような（⑤）

が生まれ、日本人独特の造形である優美な仮名へと開花していった。
仮名の美しさといえば、^I連綿が生み出す流れの美しさ、^{II}墨の潤渾による美しさ、^{III}散らし書きによる行構成の美しさ、そして、それらを支える線の多様な美しさといえる。文字が簡素なだけに、連綿によってさまざまな表情が生まれ、字源の異なる文字を用いることでさらに変化が加わる。墨継ぎの場所や墨を継ぐテンポを変えたり、行構成を変えたりすれば、無限に表現の幅が広がる。このように、^{III}仮名の芸術としての可能性が潜んでいる。

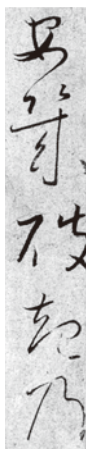
仮名の成立について
(⑤) ← (④) ← (③)



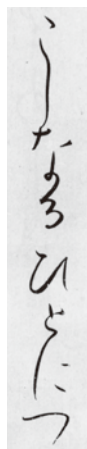
図版 A



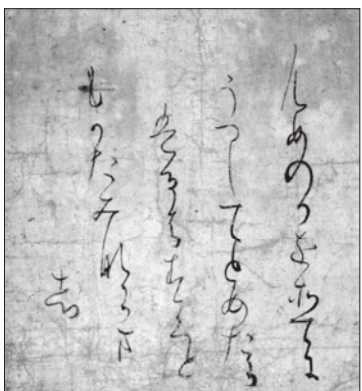
図版 B



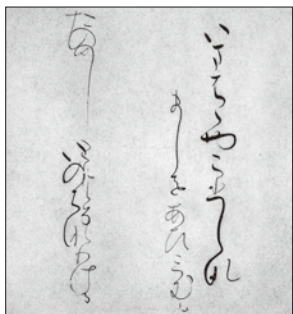
図版 C



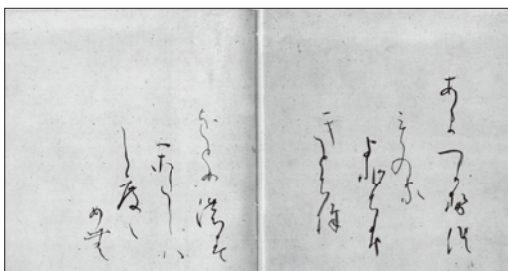
図版 D



図版 E



図版 F



図版 G

問一 文中の（①）～（⑤）に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。また、

図版A、Cの作品名を、それぞれ漢字で書きなさい。

問二 — 線部Iについて、次の問いに答えなさい。

（1） — 線部Iの表現技法を、簡潔に説明しなさい。

（2） 次の図版Hと同じ分類とされる連綿線を、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。



図版 H



図版 A



図版 B



図版 C



図版 D



図版 E

問三 — 線部IIについて、次の問いに答えなさい。

（1） 右の図版E～Gは散らし書きの代表的な作品である。これら三つの作品を総称して何と呼ぶか、漢字で書きなさい。

（2） 図版Eの一行目について、すべての仮名の字源を、楷書で書きなさい。

（3） 図版E～G、それぞれの作品名と伝承筆者名を、それぞれ漢字で書きなさい。

（4） 図版E～Gのように、分割された状態のものを何というか。また、元はどのような装丁であったか、それぞれ漢字で書きなさい。

令8 高等学校書道（6枚のうち4）

（解答はすべて、解答用紙に記入すること）

問四 — 線部Ⅲについて、次の問いに答えなさい。

- (1) さまざまな装丁の作品が存在するが、古人の筆跡を厚手の折帖に貼り込んだものを何というか、漢字で書きなさい。
- (2) 書画を床の間などの壁面で鑑賞するために仕立てた装丁のものを何というか、漢字で書きなさい。

五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

漢字や仮名、^I漢字仮名交じりの書の表現や鑑賞の活動の中で、書くことそのものに喜びを感じたり、筆で書かれる線や形の面白さを発見したり、先人の創意や工夫の跡に気づくこともある。また、^{II}古典の筆跡や現代の作品に、思わず見入ってしまうこともある。書は（①）という特質をもつて言葉を書き記す芸術であることから、書かれた過程や書きぶりを読み解くことで、作者が費やした時間や運動を追体験したり、思考や（②）を共有することも可能となる。書を理解するということは、書の持つ（③）や（④）、文字としての機能を超えた（⑤）と、作者の思考や（②）が融合することで、にじみ出る（⑥）をとらえる、つまり、書の美の本質に迫るということである。

問一 文中の（①）（②）（③）（④）（⑤）（⑥）に入る語句として最も適切なものを、次のア～カからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

ア 表現性	イ 運動性	ウ 一回性	エ 時間性	オ 風趣	カ 感興
-------	-------	-------	-------	------	------

問二 — 線部Ⅰについて、次の文章の（⑦）（⑧）（⑨）（⑩）に入る適切な語句を、それぞれ漢字で書きなさい。

漢字仮名交じりの書では、作品の表現の工夫の一つとして、固形墨の墨色による変化を用いて作品制作を行う。固形墨には、植物油を燃やして出る煤を使った（⑦）墨と、松を燃やして出る煤を使った（⑧）墨がある。中国製のものを（⑨）墨、日本製のものを（⑩）墨とよぶ。

問三 — 線部Ⅱについて、あとの図版A～図版Cを見て、次の問いに答えなさい。

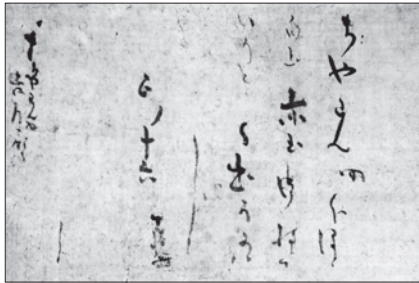
- (1) 図版Aは、安土桃山・江戸時代に活躍した人物が書いた書状である。この書状を書いた人物名を、漢字で書きなさい。また、この人物は、「（⑪）の三筆」の一人である。（⑪）に入る適切な語句を、漢字で書きなさい。
- (2) 図版Bは、青木香流の作品である。作品の釈文を書きなさい。なお、漢字は楷書で、仮名は平仮名で書きなさい。
- (3) 図版Bの表現の工夫として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。
 - ア 文章を一つのまとまりで書き、それぞれの文字の文字の大小を極端につけることで作品に変化を与えている。
 - イ 濃墨でたたきつける筆使いから、力強さを表現している。
 - ウ 古典を生かした表現として、円筆を用いて切れ味を出している。
 - エ 軽やかな線の運動や、空間を広くとることで、明快な印象を与えている。
- (4) 図版Cを書いた人物名を、漢字で書きなさい。また、この人物の出身地であり、記念館がある都道府県名を、漢字で書きなさい。

問四 本年、奈良国立博物館では開館一三〇年記念特別展として「超 国宝―祈りのかがやき―」が開催された。奈良国立博物館で所蔵されている国宝を、次のア～オから一つ選んで、その符号を書きなさい。また、奈良県は、和歌集等で詠まれる舞台が多く存在する。兵庫県出身で、「かなとうた」を創刊し、大字仮名の推進普及に貢献し、歌人としても活躍した書家の人物名を、漢字で書きなさい。

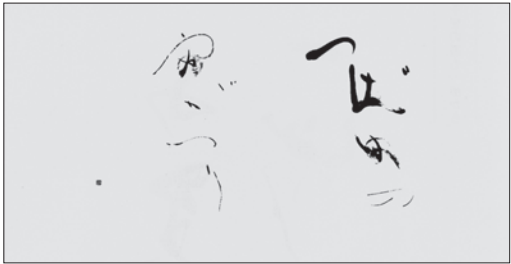
ア 金光明最勝王経（国分寺経）	イ 永尊書状	ウ 雑筆集	エ 明月記断簡	オ 足利義満書状案
-----------------	--------	-------	---------	-----------

問五 次の図版D、Eは、生活の中の刻字の書とその刻された書の断面のイメージ図である。各図版の刻し方として適切なものを、次のア～エからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。

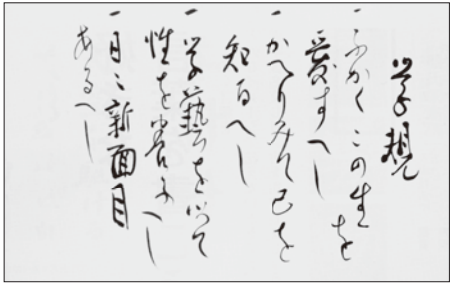
ア 筋割り	イ かまぼこ割り	ウ たたき割り	エ 船底割り
-------	----------	---------	--------



図版 A



図版 B



図版 C



図版 D



図版 E

令8 高等学校書道解答用紙（6枚のうち5）

総計		

問一		問二		問三		問四		問五	
①	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)
	作品名	⑤				⑩	⑦	図版D	
②		⑥		⑪	⑧	図版E			
③				⑨					
④									
⑤									

一				

問一							問二		問三						
①	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)					
		字形	作品名	印		↓ ↓ ↓ ↓ ↓		図版F	作品名						
②			人物名	人物名	皇帝			図版G	人物名						
③									文						
④															
⑤															

二		

問一			問二		問三		問四			問五			問六			問七		
①	(1)	(2)	(2)	(1)	④	人物名	④	図版B	図版D	図版F								
		期			⑤													
②																		
③																		
④																		
⑤																		

三						

令8 高等学校書道解答用紙（6枚のうち6）

四

問四		問三					問二		問一		
(2)	(1)	(4)	(3)			(2)	(1)	(2)	(1)	図版A	①
		分割	図版G	図版F	図版E				説明		②
			作品名	作品名	作品名						
		装丁	伝承筆者	伝承筆者	伝承筆者					図版C	④

四			

五

問五	問四	問三				問二	問一	
図版D	国宝	(4)	(3)	(2)	(1)	⑦	①	
		人物名		积文	人物名			
								②
図版E	人物名					⑧		
						③		
						④		
				都道府県名	⑪			⑤
						⑨	④	
								⑥
								⑩
							⑦	

五				

令8 高等学校書道模範解答（6枚のうち5）

総計		
200		

冊 冊

問五		問四		問三		問二		問一			
(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	①		
何紹基	図版D	イ	居延漢簡	⑩	⑦	泰山刻石	肥筆	⑤	作品名	金文	
	張遷碑			逆筆（蔵鋒）	縦長			来（來）	小臣觶犧尊		
				図版E	⑪			⑧			⑥
				礼器碑	均一（均等・一定）			水平			五
		⑨									
					垂直			始皇帝	③	篆書	
									④	八分（八分隸）	

一				

36

問三							問二		問一							
(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(2)	(1)	①							
ウ	作品名	図版F	中村不折	工 ↓ オ ↓ ウ ↓ ア ↓ カ ↓ イ	印	作品名	字形	牛橛造像記	墓誌銘							
	書譜	光明皇后			鑑蔵印	蘭亭序	方筆（方勢）		太宗							
										人物名	図版G	王鐸	孫過庭	文	イ	太宗
人物名	図版G	王鐸	孫過庭	文	イ	太宗										
	人物名	図版G			皇帝	人物名	人物名		太宗							
					工	馮承素	趙之謙		太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							
									太宗							

令8 高等学校書道模範解答（6枚のうち6）

四

問四		問三					問二		問一			
(2)	(1)	(4)	(3)			(2)	(1)	(2)	(1)	図版A	①	
掛軸	手鑑	分割	図版G	図版F	図版E	无	三色紙	工	説明	仏足石歌碑	真名	
		断簡	作品名	作品名	作品名						②	
			継色紙	升（枳）色紙	寸松庵色紙						万葉仮名	
			装丁	伝承筆者	伝承筆者						伝承筆者	③
				冊子本	小野道風						藤原行成	紀貫之
								文字と文字とをつなげて書くこと。	図版C	④		
									秋萩帖	草仮名		
										⑤		
										女手		

五

問五	問四	問三				問二	問一
図版D	国宝	(4)	(3)	(2)	(1)	⑦	①
イ	ア	人物名	エ	釈文	人物名	油煙	ウ
		會津八一		つ	本阿弥光悦		
ば	⑧		カ				
め				③			
の	松煙		エ(イ)				
宙		④					
エ	安東聖空	都道府県名	が	⑪	寛永	⑨	イ(エ)
		新潟県	へ	⑩		ア	
			り		唐	⑥	オ
						和	